

競争優位のロジスティクス戦略 ～トップ企業の事例からSCMの本質を探る～

SCMはここ十数年、経営用語のNo. 1の地位を不動のものとし、現在も業種の垣根を越えて多くの企業で推進されています。商品による差別化が困難になった今、新しいビジネスモデルやグローバル展開へと事業をシフトしていく際には、SCM改革が必須だからです。製造関係者は生産の効率化を、流通関係者は中抜きを、情報システム関係者は情報システムを、SCMの主体だと解釈する傾向があり、SCMに対する理解は人や業種によって様々です。

本セミナーでは、アップル、ウォルマート、トヨタなどの一流企業の実態からSCMの本質を探ります。また、ロジスティクスにより競争優位性を確保している企業の紹介や、オムニチャネルによるロジスティクスの変化など、ロジスティクスの今後の展望について考えます。

日程・場所

2014年7月15日(火)
10:00～17:00
※受付開始 9:30～
東京都港区東新橋1-9-3
日本通運本社ビル 4階 会議室AB

荷主企業・物流企業の経営者または管理者
荷主企業でSCM・ロジスティクスに携わっている方
物流企業で経営企画・SCMに携わっている方
◇ ぜひご参加ください ◇

参加料金

1名様/ 30,000円(税込) 定員40名 ※最少開催人数:30名
※昼食付

※定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
※参加料金は開催日前日までにお振込みください。
※振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

キャンセル規定

開催日7日前～前々日(開催日初日を含まず)・・・参加料の30%
開催日前日および当日・・・参加料の全額

お申し込みは 弊社HPより

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

弊社ホームページよりエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーのご案内および請求書を郵送いたします。

◇ オリエンテーション(10:00~10:05)

10:05~10:50

1 SCMとは何か？

- 1 SCMの定義と生い立ち
- 2 SCMの強さと企業競争力の関係

11:00~11:50

2 SCMのトップ企業

- 1 SCMトップ25の企業紹介
- 2 トップ25のSCMの特徴

12:50~13:40

3 SCMの本質と目的

- 1 SCMの本質は3つの要素から構成される
- 2 3つの要素を特徴づける事例の紹介
- 3 SCMの目的とは何か

13:50~15:45

4 SCM改革を推進する ロジスティクス

- 1 SCM改革におけるロジスティクスの重要性
- 2 優良企業の事例の紹介
- 3 SCMの今後の展開方向

15:55~16:45

5 ロジスティクスで 競争優位性の確保を

- 1 戦略なき経営は共同墓地に入る
- 2 ロジスティクスで競争優位性の確保を
- 3 ロジスティクスの今後の展開とあるべき姿

◇ 質疑応答(16:45~17:00)

講師プロフィール

原田 啓二(はらだ けいじ) 先端ロジスティクス研究所 代表



NECに入社し、品質管理、生産技術、設計開発、生産計画、生産管理、予算管理、情報システム開発、営業などSCMに関係する多くの職種を経験。NECロジスティクスに出向し、執行役員となる。NECグループがトヨタ生産方式を導入する際の物流の実行責任者として統括。SCM改革を推進するロジスティクスを実践した。その後、先端ロジスティクス研究所を開設。物流企業のコンサルタントや教育活動、および、現場見学会のアドバイザーなどを行う。また、『トヨタ生産方式に学ぶ現場力の向上』『ドラッカーに学ぶ物流経営』など多数の講演活動を行うとともに、物流専門誌マテリアルフロー(流通研究社発行)の中で『一刀両断』を6年半に渡って現在も執筆中。

日通総合研究所のプロフィール

1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウとで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所
〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3
日通本社ビル8F
TEL:03-6251-3277 FAX:03-6251-6450
事務局担当:高田

